

平成27年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

1、 本園の教育目標

情操豊かにたくましく
他人を思いやる心を育成することを目標とする

2、 評価項目の達成及び取組状況

保護者と幼児の共通理解を図れるよう、懇談や意見交換の場を設け保育内容の向上をはかる。
子どもの発達に合わせ力を発揮できる環境を考え、充実した活動ができるよう援助方法などを考える。。

3、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目	取組状況
保育計画の評価・反省について、次の保育に生かせるよう取り組む	毎日の保育を振り返り、評価・反省点をあげると共に他の保育者の意見を取り入れ、保育の向上に努める。
幼児の興味や能力に応じて活動できる環境を整え、援助しながら活動を充実させる	子どものアイデアを引き出しながら助言・援助し遊びを展開する
食物の栽培に関わり、できたものを食すなど食べ物への関心を持たせ、食育に努める	名前を知らせ、実のなる様子を観察したり、水やり・収穫をして皆で食することで、食べてみようという気持ちを持つ。
幼児理解のため、保護者と話し合う機会を持つ	気になることやその日にあったことを保護者に伝え家庭での様子を聞いたりコミュニケーションをとる

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度も懇談など保護者との話し合いを持つことで、多くの場合子どもの理解が深まり、有意義な保育へのつながりとなった。これらも参考にしながら、計画や展開を考えていくのが、今後の課題となる。

引き続き食への関心を持たせられるよう、子どもへの知らせ方などを考慮する必要がある。

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	前年度を基に園を取り巻く環境や、気になる子ども、特別支援教育といった子どもの実態に即した個別指導計画の編成に取り組んでいく。
子どもの成長に即した計画・展開	子どもの成長がゆっくりになり、学年が上がってもルールなどが理解できない場面が増えているため、丁寧に計画・展開を考える。
食への関心を持たせる	年少・年中児は栽培も年長任せのようなどころがあるので、何か関わりを持てるように心掛けていく

6、 学校関係者の評価

・概ね日々の努力は認められ特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。